

普通科数学24班

日本と色々な国の相関関係

班員 稲垣 純平 貴宮 颯史
甲斐 智也 佐藤 碧人 築田 龍蔵

指導者 寺崎先生
濱田先生

研究の動機

日本と他国には、出生率や死亡率、所得降水量などを比較すると、どのような相関があるのか、またはないのか調べてみたいと思ったから。

先行研究

国際比較で見た所得格差の状況

<https://www.iri.co.jp/page.jsp?id=38401>

世界における降水量と降水特性の長期変化

<https://koumu.in/articles/479>

研究方法

1・インターネットで日本と他の国の一年間の死亡率や出生率、降水量などを調べる

2・それらの割合を表にまとめる。

3・まとめた表から相関グラフを作成し、レポートにまとめる。

4・気になる別の国と日本で比較するのを繰り返す。

5・調べて作ったグラフからその国の問題や日本との違いを見つけまとめる。

6・日本と大きく違いが見られた国を中心にその国について詳しく調べ、ポスターにまとめる。

必要な道具

・パソコン・筆記用具・レポートシート

仮説

・降水量は日本と同じ温帯の気候の国比べると正の相関が表れ、熱帯や乾燥帯の国などと比べると負の相関が表れる。

・出生率や死亡率は日本は医療技術が発達しているため発展途上国の国と比べると正の相関が現れる。

研究計画

4～5月	日本とある1つの国に絞って、降水量や出生率、死亡率などを調べ、表にまとめる。
6～7月	相関関係のグラフを作り、グラフを元にレポートにまとめる。
夏休み	気になった別の国の色々な割合を調べ表にまとめ、同じように相関関係のグラフを作り比較する。
9～10月	各自で調べて作成した相関関係のグラフからその国の特徴などを見つけ出し、詳しく調べる。
11～12月	結果、日本との違いなどをまとめたポスターを作成し、国ごとの課題などを見つける。

参考文献

世界の出生率の現状<https://elemenist.com/article/1714>

公務員総研<https://koumu.in/articles/479>

厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/19/backdata/01-01-01-07.html>

